



こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

# 国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	出井 清	幹事	伊藤 和夫	雑誌会報委員長	小林 透
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎ 043-245-3204)				

2012年1月第2週号

## 第2342回



平成24年1月20日(金) 点鐘12:30(雨)

【移動例会・NHK千葉放送局】

- ◆ロータリーソング 『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

### ◆お客様紹介

・本日のゲストスピーカー／NHK千葉放送局  
局長 米本 信様

### ■ 会長挨拶及び報告 出井 清会長

本日は、久しぶりの移動例会です。プログラム委員の向後会員のご尽力で、新築移転されたばかりのこのNHK千葉放送局で例会が出来ますことを大変嬉しく思います。県庁近くにあった旧会館はかなり古く、いつ改築されるのかなと思っていましたが、例会場のオークラ千葉ホテルの直ぐ傍に移転とは夢にも思っておりませんでした。私が知ったのは7月頃で、何かビルが建ちそうだなと思いつつ、更に高い鉄塔が出来上がり、これはスタジオだなどピンとききました。例会場に近しい、スタジオ見学も早いうちに出来るかなと思い、小野委員長に提案致しました。快く受け入れて下さった米本局長さんに感謝致しますとともに本日の卓話を宜しく願い申し上げます。

最近、テレビがつまらなくなったと思うのは私ばかりではないと思います。しかし、NHKは違います。朝の連続ドラマ、大河ドラマ、クローズアップ現代、ためしてガッテン、鶴瓶の家族に乾杯等々、様々なニュース番組も見逃せません。

ガバナー月信の今月号に寺澤会員と大塚会員が載っております。寺澤会員は、R財団と米山記念奨学会への大口寄付で掲載されておりますが、本当に頭が下がる思いです。大塚会員は新会員として紹介されておりますが、これからの活躍を大いに期待しております。

### ■ 幹事報告 伊藤 和夫幹事

次週の例会は、屋形船懇親例会です。バスで移動します。(蘇我駅千葉BK側14:00 千葉駅NTT前14:15)

### ■ ニコニコボックス報告

#### ◇出井 清会長・伊藤 和夫幹事

本日は移動例会ということで、新築移転されたNHK千葉放送局にお邪魔致しました。局内の見学も楽しみにしております。

米本局長様、本日の卓話もお願いして大変お世話になります。どうぞ宜しくお願い致します。

#### ◇向後 保雄会員

米本局長様、本日の卓話、宜しく願い致します。又、例会終了後の施設見学も重ねて宜しくお願い致します。

本日のニコニコボックス	3,000円	累計	354,976円
金の箱	—円	累計	18,596円

### ■ 出席報告 (会員数37名)

出席者数28	欠席者数9	ビジター 1	修正出席率 次回にて
--------	-------	--------	------------

### ■ 千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#) [ご利用下さい](#)

千葉RC	月	2/13	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	2/14	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	2/14	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	2/15	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	2/15・22・29	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	2/9	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	2/9・16	京成ホテルミラマーレ



演 題…『千葉放送局の新しい挑戦』

卓話者… NHK伊庭放送局 局長 米本 信様

NHK千葉放送局の米本です。本日はこの後、新しい会館内を見学していただきますが、その前に卓話としてこの新しい会館の案内をさせていただきます。

私は、千葉県で生まれ育ちました。生まれは勝浦です。小学校は館山、中学から千葉に移り、大学も千葉から通っておりました。千葉には一昨年の6月に着任しましたが、いろいろなところにご挨拶に行ったところ、「千葉テレビさんですか？」と言われてしまい、NHK千葉放送局は意外と知られていないのではないかと感じました。実際にアンケートを取ってみるとその通りで、新しい会館が出来たのを機会にぜひ知っていただきたいと思っております。来週は私が所属している千葉RCが見学に来ますし、4月には千葉幕張RCさんもお出でいただけると聞いています。皆さんに来ていただけるのは大歓迎です。

新しい会館に来て一番驚いたことは食堂の人気です。以前の会館にも食堂がありましたが、新しい会館は1階のガラス張りということもあって大変人気があります。12月のオープン当初は本来利用する職員が入れないほどのお客さんがお見えになり業者もびっくりしておりました。今日のお弁当もこの食堂で作らせていただきました。是非皆さんにも食堂を利用していただきたいと思っております。定食は600円です。千葉みなと周辺でもかなり知られてきました、近くの中中央警察の方にも美味しいと言ってもらっています。

続きまして、千葉放送局の歴史についてお話しさせていただきます。千葉放送局は、昭和18年10月1日に総務局千葉出張所として市場町に開設されました。当時は、テレビ放送がないので、ラジオの聴取料の収納が主な業務でした。職員数は12名、そのうち7名が徴収業務に携わっておりました。当時の契約数として、16万1千人という数字が残っております。その後、戦災で焼けたりして転々としておりましたが、昭和22年に千葉市本町に移転し、昭和26年に名前が千葉放送局となりました。昭和46年に前の放送会館に移り、その年の9月にFM放送が始まりました。それ以来千葉県内の情報を発信し親しまれ続けてきました。そのような中、デジタル時代となり、機材等も古くなり手狭になってきました。実はこの前の放送会館は全国のNHK放送会館の中で一番狭かったのです。新しい放送会館は延床面積5262㎡(旧会館3752㎡)敷地面積4969㎡(旧会館1509㎡)となり、ずいぶん広くなったと感じられるかも知れませんが、実はこの広さが全国の放送会館の標準で、今までがいかに狭かったかということで、私たちにとっては別世界です。機材の入る前に2階を見回したところ、野球ができるのではないかと



思ったくらいです。そのような状況で職員一同何かやろうという感じになっており、引越していいなあと感じております。平成16年にこの土地を取得し、着工は21年12月です。当所、去年の5月に竣工し11月上旬に開館する予定だったのですが、3月の大震災の影響で竣工が1ヶ月遅れてしまいました。液状化や建物の損傷ではなく、資材が搬入されなくなったり、計画停電で人手が足りなくなったのが原因です。このままでは年内は無理ではないかという状況だったのですが、公共放送として、なんとしても大震災のあった年に開館したいという思いで急ピッチに進めたことで12月10日に開館することができました。大震災の年にできた放送会館は千葉だけですのでそういった思いで震災に向き合っていきたいと思っております。

NHK千葉放送局ですが、職員数は92名です。職員を支えるスタッフは228名のうち180人が受信料の収納業務で県内各地を担当しています。業務は千葉県内のニュースの取材、テレビ、FMラジオの番組の制作、公開派遣番組、イベントといった企画、受信料をお支払いただく営業の活動をしています。皆さんにお配りした資料にあるキャラクターは開局60周年で作成した「ラッカ星人」でPRに活躍してもらっています。お客さんのところに受信料の話で行っても和やかになってくれることで大変に効果があります。

千葉放送局の特徴は、テレビの放送は出していないが、営業的には全国有数の拠点であるということです。千葉に2つの拠点がおり、千葉放送局の中と船橋にあります。千葉の担当範囲は広さでいうと全体の8割を占めていますが、人口と契約数だと半分半分になります。県内で184万の契約と312億円の受信料収入があり、全国74の営業拠点のうちの6番目となっております。千葉県は東京と神奈川を合わせた面積よりも広いのですが、その範囲をカバーするために3つの報道拠点があります。成田空港の中に成田報道室、松戸に東葛報道室、館山に房総報道室があり、取材したりニュースを配信したりしています。成田は3名、他は1名の体制です。皆さんは天気カメラをご存知でしょうか？地震の時などに役立つのですが、4台設置してあります。放送会館の鉄塔の上、ここは富士山も見えます。アクアラインの見える木更津、台風の時に出てくる白浜と銚子に常設しています。そのほかに移動式の天気カメラもあり、去年はマザー牧場に置かせてもらい景色を映し出すことをさせていただきました。

FMラジオの県内向けの番組は、「ひるどき情報ちば」「まるごと千葉60分」という番組をやっておりますが、1階にサテライトスタジオがあり、外から見られるようになっています。この会館の中には3つのスタジオがあるのですが、全て見る事が出来るような作りになっています。

テレビでは、埼玉局、横浜局と一緒に首都圏広域放送ということになっております。放送を出すのは東京ですが、そこに順次参加していく形です。「こんにちは一都六県」という番組があります。そこに随時情報を提供しているのですが、水曜日には千葉県枠があり12分あります。ほかにも「おはよう首都圏」「首都圏ネットワーク」といった

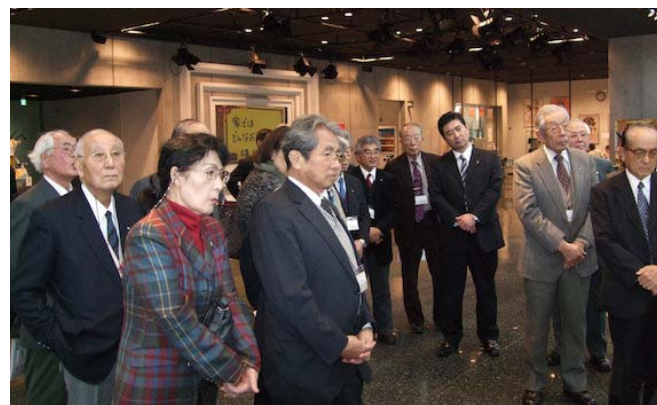
番組にも千葉の企画を出しています。千葉はFM局なので、自前のテレビを出していないというハンデがあります。ローカル放送をやらないのか？という声もありますが、4月から北関東はテレビ放送は始まるのですが、千葉を含めた南関東では今のところは見通しがたっておりません。このことは、逆にいえば強みでして、いったん千葉から出て放送されれば少なくとも関東全域に放送されるということになり、場合によっては全国、BSであれば海外にも流れるということになります。たとえば、千葉市美術館の話題が放送されたことがありますが、その放送された日は内外からファンがお見えになり、入場者数が跳ね上がるという現象も起きています。この例もあるので、積極的に千葉の話題を発信していこうと考えております。このほか「小さな旅」という番組があります。去年は千葉駅を取りあげましたが、年に2回くらい千葉県内の町や村を取り上げています。一番直近では香取郡神崎町を取り上げています。神崎町は発酵で町おこしをしており全国から続々人が集まってきております。そのほか「NHKスペシャル」「クローズアップ現代」などの制作にも参加しております。東日本大震災の液状化、柏の放射能の濃縮、海の汚染の話など千葉県にとって大事な話なので継続的に伝えていきたいと思っています

昨年デジタル化が完全に移行しました。県南のほうは東京タワーの電波が届きませんので23基の中継局で世帯の99%をカバーしています。

公開番組を開催していますが、インターネットを使った情報発信をしています。ツイッターで食堂のメニューなども発信していますが、テレビ放送の千葉に関する情報を繋げているプログラムを発信しています。

「みんなと みなとのNHK千葉放送局」というキャッチフレーズには二つの意味が込められています。一つは、NHKは皆様の・・・とよくいいますが、皆様では敷居が高いので、みんなのNHKになりたい、もっと身近に感じていただきたいという願いと千葉みなという地域にあるだけでなく、“みなさんのみなとなりたい” 港は何かあった時に逃げ込む場所であったりします。今情報があふれていますが、NHKの情報ならば世の中が見えるというような放送局でありたいと考えています。

(文責 小林 透)



ニュースキャスター席で・・・↑



**第2343回例会**

**【懇親屋形船例会】**

日時⇒ 平成24年1月27日(金)

出航⇒ 浜松町 15:30

**第2344回例会**

日時⇒ 平成24年2月3日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『私の人生について』

卓話者⇒ 大塚 裕正会員